

第15回 BACHスクリーンコンサート 2022. 8月

8月のテーマ 世界の夏の音楽祭にご招待

世界各地に大規模な音楽祭があります。特に毎年6月から8月の夏の時期、野外等で数千人の市民が気軽にそしてくつろぎながらクラシック音楽を楽しむコンサートが多いのも特徴です。海外のこうした音楽の楽しみ方に感動するとともに羨ましくも思います。

今月は世界中の夏の音楽祭の中から歴史と伝統のあるコンサートを3箇所選びその会場へご案内します。



1、ウィーン・フィル/シェーンブルン夏の夜のコンサート (オーストリア) 7月

ユネスコの世界遺産にも指定されているシェーンブルン宮殿を舞台にオープンエアの演奏会「ウィーン・フィル・サマー・ナイト・コンサート」が行われます。

シェーンブルン庭園コンサートは、音楽を愛する人への年に1度のプレゼント。2004年から毎年開催され、毎年10万人を超える音楽ファンが集まり、世界各国にテレビ中継されます。必ずコンサートの最後にJ.シュトラウス2世作曲のワルツ『ウィーン気質』の演奏で幕を閉じます。

曲目

- (1)ラフマニノフ パガニーニの主題による奇想曲
- (2)エルガー 愛のあいさつ
- (3)シベリウス カレリア間奏曲
- (4)ホルスト 惑星から木星
- (5)シュトラウス ウィーン気質

2、ベルリン・フィル ワルトビューネ・コンサート (ドイツ) 6月

1980年代から毎年6月末になると、コンサートホールや劇場が夏休みに入る一方で、ベルリンの街のあちこちで野外コンサートが開かれるようになり、中でも広く知られているのが、シャルロテンブルク地区の森の中にあるヴァルトビューネ（「森の劇場」の意）で最後に行われるベルリン・フィルのコンサートです。

コンサートのラストを飾るのは恒例のアンコール曲「ベルリンの風」が演奏されます。

曲目

- (1)ジョンウィリアムスメロディー パーカッション
- (2)ジョージ・ガーシュイン ラプソディー・イン・ブルー
- (3)ベルリンの風

3、プロムス ラストナイトコンサート（イギリス） 毎年7～8月

毎年7月中旬から2か月間にイギリス各地で開催し、最終日はロンドンのロイヤル・アルバート・ホールで世界最大級の音楽祭「BBCプロムス」が行われます。

1895年より開催され120年以上の歴史があり、世界的に有名な指揮者や演奏家、オーケストラが毎日演奏を繰り広げ、多彩なプログラムがクラシックファンに限らず様々な人が楽しめる音楽祭です。

世界最大級の音楽祭、初日の夜と最終日の盛り上がりは格別です。

特に最終日の夜「ラスト・ナイトは、観客が英国旗のユニオンジャックを振り、演奏の合間には風船を飛ばしクラッカーを鳴らし、お祭り状態になります。

「威風堂々」は必ず演奏し、他の曲目も英国が誇る名曲の数々で、最後は演奏なしで「蛍の光」を観客も一緒に大合唱します。愛国心一辺倒ではない、不思議な一体感で盛り上がります。

1992年版 40分（30年前に観て感動した映像）

曲目

- (1)威風堂々
- (2)イギリスの海の歌
- (3)埴生の宿
- (4)見よ 勇者は帰る
- (5)ルール・ブリタニア
- (6)スピーチ
- (7)エルサレム
- (8)イギリス国家

2019年版 30分

曲目

- (1)ホーム・スイート・ホーム
- (2)見よ 勇者は帰る
- (3)ルール・ブリタニア
- (4)威風堂々
- (5)スピーチ
- (6)エルサレム
- (7)イギリス国歌
- (8)蛍の光



ロイヤル・アルバートホール